

## 原口典之 経歴

1946年 神奈川県横須賀市生まれ。

1970年 日本大学芸術学部美術学科卒業。

### <個展>

- |       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
| 1968年 | 村松画廊 / 東京  | 1988年 | ギャラリー現 / 東京<br>Judson Art Warehouse Viewing Gallery, New York.          |
| 1969年 | 田村画廊 / 東京  |       | アキライケダギャラリー / 東京  |
| 1970年 | 田村画廊 / 東京  |       | AC&T コーポレーション / 東京  |
| 1971年 | 田村画廊 / 東京  |       | San Diego State University Art Gallery,<br>San Diego, California.       |
| 1972年 | サトウ画廊 / 東京<br>ギン画廊 / 東京  | 1990年 | アキライケダギャラリー / 東京<br>ヨシミツヒジカタギャラリー / 名古屋                                 |
| 1973年 | ギャラリー射手座 / 京都<br>田村画廊 / 東京   |       | AC&T コーポレーション / 東京  |
| 1974年 | 田村画廊 / 東京<br>ギャラリー射手座 / 京都   |       | アキライケダギャラリー / 神奈川<br>ギャラリー現 / 東京  |
| 1975年 | 田村画廊 / 東京<br>ギン画廊 / 東京<br>楡の木画廊 / 東京   | 1991年 | アキライケダギャラリー / 神奈川<br>後藤美術館 / 千葉   |
| 1976年 | サトウ画廊 / 東京<br>ギャラリーU / 名古屋<br>真木画廊 / 東京  | 1993年 | アキライケダギャラリー / 東京<br>アキライケダギャラリー / New York                              |
| 1977年 | かねこ・あーとギャラリー / 東京  | 1994年 | アキライケダギャラリー / 東京  |
| 1978年 | Galerie Alfred Schmela, Düsseldorf.  | 1995年 | ホテル&アート・アンビク現代美術館 / 熱海<br>アキライケダギャラリー / 名古屋                             |
| 1979年 | 桜画廊 / 名古屋<br>康画廊 / 東京  | 1996年 | アキライケダギャラリー / 神奈川   |
| 1980年 | Annely Juda Fine Art, London.<br>Galerie Art in Progress, Düsseldorf.<br>アキライケダギャラリー / 名古屋                                       | 1997年 | アキライケダギャラリー / 神奈川<br>アキライケダギャラリー / 東京                                   |
| 1981年 | 桜画廊 / 名古屋  | 2001年 | “Haraguchi” Lenbachhaus, München.                                       |
| 1982年 | アキライケダギャラリー / 東京   | 2003年 | “油と水” Gallery Hirawata / 神奈川  |
| 1983年 | Juda Rowan Gallery, London.<br>アキライケダギャラリー / 名古屋   | 2005年 | ギャラリー現 / 東京<br>アキライケダギャラリー / 神奈川<br>アキライケダギャラリー / Berlin                |
| 1985年 | Galerie Karin Bolz, Mulheim an der Ruhr, Germany.<br>アキライケダギャラリー / 東京  | 2006年 | “An Empty Space” アキライケダギャラリー / New York<br>“鉛の感覚” ギャラリーヒラワタ / 神奈川       |
| 1986年 | アキライケダギャラリー / 名古屋  | 2007年 | アキライケダギャラリー / 神奈川   |
| 1987年 | Hoffman Borman Gallery, Santa Monica, California.<br>Judson Art Warehouse Viewing Gallery, New York.<br>真木画廊 / 東京<br>ギャラリー現 / 東京 | 2008年 | ギャラリー現 / 東京<br>アキライケダギャラリー / Berlin<br>Kunst-Station Sankt Peter, Köln. |
|       |  | 2009年 | アキライケダギャラリー / 神奈川<br>「社会と物質」BankART Studio NYK / 神奈川                    |

## 原口典之 経歴

### <グループ展>

- |       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
| 1966年 | 「第7回現代日本美術展」東京都美術館（入選）   | 1977年 | “Documenta 6” Kassel, Germany.  |
| 1967年 | 「20代のモブ展」村松画廊 / 東京   |       | “Biennale de Paris”   |
| 1968年 | 「第1回 Apple in Space」日比谷画廊 / 東京<br>「Nippon かまいたち」横浜市民ギャラリー  |       | Musée d’Art Moderne de la Ville de Paris.<br>Galerie Alfred Schmela, Düsseldorf.  |
| 1969年 | 「第5回国際青年美術家展」池袋西武百貨店<br>「3人展」秋山画廊 / 東京<br>「第4回ジャパン・アート・フェスティバル」<br>（文部大臣賞）東京国立近代美術館<br>「第2回 Apple in Space」村松画廊 / 東京<br>「現代美術の動向展」京都国立近代美術館                        | 1978年 | 「神戸須磨離宮公園第6回現代彫刻展」神戸市立須磨離宮公園  |
| 1970年 | 「70年代オープニング展」ときわ画廊 / 東京<br>「現代美術野外フェスティバル」横浜こどもの国<br>「第3回 Apple in Space」東京アメリカンセンター   | 1980年 | 「第1回ハラ・アニュアルー80年代への展望」原美術館 / 東京   |
| 1971年 | 「言葉とイメージ」ピナール画廊 / 東京<br>「第10回現代日本美術展」東京都美術館<br>「3人展」ギャラリー射手座 / 京都<br>「プリント1972ねん展」シロタ画廊 / 東京   | 1981年 | “Schwarz” Kunsthalle Düsseldorf.<br>“Construction in Process -Art of the 70’ s” Łódź, Poland.<br>「日本現代美術展ー70年代日本美術の動向」<br>韓国文化藝術振興院美術會館 / Seoul                           |
| 1972年 | 「おもりとバネ」東京アメリカンセンター<br>「今日の作家’72年展」横浜市民ギャラリー   | 1982年 | 「現代日本美術の展望ー油絵」富山県立近代美術館<br>「神戸須磨離宮公園第8回現代彫刻展」神戸市立須磨離宮公園   |
| 1973年 | 「点展」横須賀田浦港 / 神奈川<br>「第8回ジャパン・アート・フェスティバル」<br>東京セントラル美術館<br>「次元と状況展」紀伊国屋画廊 / 東京<br>「第1回箱根彫刻の森美術館大賞展」箱根彫刻の森美術館<br>「第5回現代日本彫刻展」宇部市野外彫刻美術館 / 山口<br>「74 デッサン展」ギン画廊 / 東京 | 1984年 | 「70年代展」鎌倉画廊 / 東京<br>「1970年以降の美術ーその国際性と独自性」東京都美術館  |
| 1974年 | “Japan -Tradition and Gegenwart”<br>Kunsthalle Düsseldorf.   | 1985年 | 「水彩による表現 Part III」鎌倉画廊 / 東京<br>“Maquette Models and Drawings for Sculptures”<br>Galerie Jullien Cornic, Paris.<br>「サマーショウ、ーステラ・セラ・バスキア・キーファー・原口」<br>アキライケダギャラリー / 東京      |
| 1975年 | 「京都アンデパンダン」京都市美術館<br>「EXHIBISMー方法から方法へ」神奈川県立県民ギャラリー<br>「次元と状況」紀伊国屋画廊 / 東京<br>「第6回現代日本彫刻展」宇部市野外彫刻美術館 / 山口<br>「今日の静物・展」横浜市民ギャラリー                                     | 1986年 | 「日本現代美術展」台北市立美術館<br>「モノ派ー原口典之・高山登・榎倉康二」鎌倉画廊 / 東京<br>“Dispersed Core” アキライケダギャラリー / 東京<br>「現代の白と黒」埼玉県立近代美術館<br>「ドローイング」アキライケダギャラリー / 名古屋                                   |
| 1976年 | 「1976 京都ビエンナーレ」京都市美術館<br>「次元と状況」紀伊国屋画廊 / 東京<br>“The Biennale of Sydney”<br>Art Gallery of New South Wales, Sydney.   | 1987年 | “Drawing for Sculpture” Thomas Segal Gallery, Boston.<br>「第3回富山国際現代美術展」富山県立近代美術館<br>“Relief & Sculpture” アキライケダギャラリー /<br>名古屋+ギャラリー手 / 東京                                 |
|       |  | 1988年 | “(C) Overt: A Series of Exhibitions” P.S.1, New York.<br>「Painting & Sculptureー原口典之・若林奮・ボロフスキー・<br>クネーベル」アキライケダギャラリー / 東京<br>「12人のプリントワークス」台北市文建藝廊<br>「白州・夏・フェスティバル’88」山梨 |
|       |  | 1989年 | 「第2回名古屋コンテンポラリーアートフェア」<br>名古屋電気文化会館<br>“Painting & Relief” アキライケダギャラリー / 東京<br>「白州・夏・フェスティバル’89」山梨<br>「現代美術への視点・色彩とモノクローム」東京国立近代美術館                                       |

## 原口典之 経歴

### <グループ展>

- 1990年 「グループショウ」アキライケダギャラリー / 東京  
「第3回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋電気文化会館  
「ファルマコン'90 幕張メッセ現代の美術展」  
幕張メッセ / 千葉  
「ファルマコン'90 バッグアンドポスター展」  
アキライケダギャラリー / 東京  
「白州・夏・フェスティバル'90」山梨  
「ミニマル・アート」国立国際美術館 / 大阪
- 1991年 「白州・夏・フェスティバル'91」山梨  
「70's-80's Contemporary Art at Kamakura Gallery  
<Part3> “モノ派”の作家たち」鎌倉画廊 / 東京
- 1992年 「グループショウ」アキライケダギャラリー / 東京  
「グループショウ」アキライケダギャラリー / 神奈川  
「第5回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
“New Drawings” アキライケダギャラリー / 名古屋  
“Joseph Beuys, Piero Manzoni, Noriyuki Haraguchi”  
アキライケダギャラリー / 東京  
「白州・夏・フェスティバル'92」山梨
- 1993年 「第6回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
「大分現代美術展'93-都市空間への提言・非常識」大分
- 1994年 「第7回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
「モノ派-原口典之・高山登」鎌倉画廊 / 東京
- 1995年 「1970年-物質と知覚 もの派と根源を問う作家たち」  
岐阜県美術館 (広島市現代美術館、北九州市立美術館、  
埼玉県立近代美術館に巡回)  
「戦後文化の軌跡 1945-1995」目黒区美術館 / 東京  
(広島市現代美術館、兵庫県立近代美術館、  
福岡県立美術館に巡回)  
「第8回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
“ASIANA -Contemporary Art from the Far East”  
Fondazione Mudima, Palazzo Vendramin Calergi, Venezia.  
「サマーショウ」アキライケダギャラリー / 名古屋  
「第16回現代日本彫刻展」宇部市野外彫刻美術館 / 山口
- 1996年 「第9回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
“JAPON 1970 -Matiere et perception: Le Mono-ha et la  
recherche des fondements de l'art”  
Musée d'Art Moderne de Saint-Etienne, France.  
「ピーノバスカリー・高松次郎・原口典之」  
アキライケダギャラリー / 東京  
「白州・夏・フェスティバル'96」山梨
- 1997年 「第10回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
「光州ビエンナーレ1997」光州 / 韓国  
「重力-戦後美術の座標軸」国立国際美術館 / 大阪
- 1999年 「第12回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー  
「熱海ビエンナーレ」熱海 / 静岡
- 2000年 「光州ビエンナーレ2000」光州 / 韓国  
「第13回名古屋コンテンポラリーアートフェア」  
名古屋市民ギャラリー
- 2001年 “In Time” アキライケダギャラリー / 神奈川
- 2002年 「アート循環系サイト大分現代美術展 2002」大分市美術館
- 2003年 「重力」大分市美術館
- 2004年 “Black Red” アキライケダギャラリー / 神奈川
- 2005年 「家族からからか (桃花村舞踊公演美術監修)」  
新国立劇場 / 東京  
「もの派-再考」国立国際美術館 / 大阪  
「柳原義達と私」ギャラリー青羅 / 東京
- 2006年 「斜面」ダンス白州 2006 / 山梨
- 2007年 “Das schwarze Quadrat. Hommage an Malewitsch”  
Hamburger Kunsthalle, Hamburg.  
「茶室・仮設・仮説」ダンス白州 2007 / 山梨  
“VIEW” アキライケダギャラリー / Berlin
- 2008年 “Works On Paper” アキライケダギャラリー / 神奈川  
「四角の抽象」ダンス白州 2008 / 山梨